

「生物多様性をめぐる 科学と社会の対話」

日時：平成22年5月22日（土）13:00～17:50

場所：兵庫県豊岡市 豊岡市民プラザ（兵庫県豊岡市大手町4丁目5番地）

定員 300名 参加費無料・要参加申込み

開催趣旨

統合生物学は、遺伝子から生態系までの生物学的階層における複雑で動的な生物のシステムを、生命史・進化の視点から科学的に解明する基礎科学分野を広く含み、生物多様性を科学研究の対象とする学術領域です。

本シンポジウムでは、統合生物学の今の姿をお伝えするとともに、地方自治体、市民、NGO、メディア、大学など多様な主体が相互にかかわりながらすすめている生物多様性の保全・再生・持続可能な活用のための活動・実践についての情報を交換し、生物多様性の危機を克服し、社会の持続可能性を確保するための新しいフォーラムのモデルを提示します。

次第

13:00～13:20 開会のあいさつ

「開会にあたって 日本学術会議統合生物学委員会から」
鷲谷いづみ（東京大学）

「開催地からのメッセージ コウノトリもすすめるまちづくり」
中貝宗治（豊岡市長）

13:20～15:30 第一部 リレートーク

統合生物学が切りひらく生物多様性研究の最前線

- ・世界に花が咲いた日 西田治文（中央大学）
- ・生命史 40億年に起こった3大事件の犯人探し 美宅成樹（名古屋大学）
- ・微生物の生物多様性を訪ねて 今中忠行（立命館大学）
- ・深海：生物多様性のゆりかご 北里 洋（海洋研究開発機構）
- ・飛べなく進化した鳥類の悲劇 松本忠夫（放送大学）
- ・生物行動の多様性を科学する 長谷川眞理子（総合研究大学院大学）
- ・動物の心と人の心 長谷川壽一（東京大学大学院）
- ・人類は多様性が減少してきた 斎藤成也（国立遺伝学研究所）

主催

日本学術会議統合生物学委員会
兵庫県豊岡市
（財）ひょうご環境創造協会
新潟大学超域朱鷺プロジェクト

後援

環境省 兵庫県 国際自然保護連合
(予定) (予定)

15:45～16:00 第二部 統合生物学委員会からの提言

「生物多様性の保全と持続可能な利用のために：学術分野からの提言」 鷲谷いづみ

16:00～17:30 第三部 地域の挑戦／皆の挑戦／私の挑戦

- ・市民参加で集める生き物データ 上田尚志（NPO 法人コウノトリ市民研究所）
- ・さあはじめよう！ だれでもどこでも自然再生ふくい行動プロジェクト 松村俊幸（福井県安全環境部自然環境課）
- ・仏教者と自然再生：里山保全と外来種対策 千坂げんぼう（知勝院）
- ・大学の挑戦：新潟大学がめざす自然再生学 箕口秀夫（新潟大学）
- ・ブナとともに生きる町が誇る生物多様性 若見雅明（黒松内町長）
- ・生物多様性を科学記事にする 中村浩彦（朝日新聞社つくば支局）

17:30～17:50 第四部 意見交換／総合対話



参加申込みは以下のどちらかの連絡先に、電話・FAX・メールのいずれかにてご氏名・ご所属・電話番号を明記の上をご連絡下さい。

参加申込み・お問い合わせ先

- 東京大学大学院 農学生命科学研究科 保全生態学研究室
担当者：中原 西廣 石井
電話：03-5841-8915 Fax：03-5841-8916
E-mail: taiwa.tayousei@gmail.com
- 豊岡市コウノトリ共生課
電話：0796-21-9017 Fax：0796-24-8101
E-mail: kounotorikyousei@city.toyooka.lg.jp